



川崎陸送 ■ QCC発表大会

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は24日、QCサークル(小集団改善活動)の代表者発表大会を開いた。予選を勝ち抜いた

2位の優良賞は、赤穂営業所(兵庫県赤穂市)の「ひまわり」が、3位の努力賞には江川営業所(茨城県五霞町)の「EGAWA II」が、それぞれ選ばれた。入賞者は、樋口社長から賞状などが贈られた。

車でチョコ輸送を手掛けており、装備の不具合で修理に時間と費用がかかる場合があった。このため、ローリー車の整備の知識を深めることで、不具合の事前防止を目指す活動に

ローリー点検作業標準化

10チームが業務効率化や事故防止などに向けた改善事例を発表。1位の優秀賞には、チョコレートを運ぶローリー車について、整備点

樋口社長(左端)と「金シャチ団」のメンバー

業所(兵庫県赤穂市)の「ひまわり」が、3位の努力賞には江川営業所(茨城県五霞町)の「EGAWA II」が、それぞれ選ばれた。入賞者は、樋口社長から賞状などが贈られた。

装備不具合4分の1に

方法のマニュアル化に加え、台車やサポーターなどの製品を活用した取り組みを説明。EGAWA IIは、冬場での化学薬品配送の課題だったポンプの凍結対策について話した。

樋口氏は「改善活動は一步一步の積み重ねだ。『仕事との両立が難しい』と言う人がいるが、仕事を楽にするためにQCがある。色んなサークルがやっていることをまねてほしい。来年は創業100周年であり、100年企業にふさわしい仕事をしていこう」と語った。

(土屋太朗)